

# 事務局説明資料

---

令和元年12月18日  
国土交通省 都市局

## [プロジェクトのプロセス]

- ストリートを利活用するコストは、社会実験だけを切り出して議論するのではなく、**都市再生の大きなプロセスの中での重要性**等を訴求すべき。
- 都市再生に向けた大規模事業が先行し、この取り組みが徐々に民間も動かし、最終的には公民連携型に発展するという、公→民→公民連携のタイプといったパターンもある中、**デザインプロセスを類型化、パターン化**できるのではないか。
- 公共のインフラ整備＋民間の建築敷地での取り組み、という役割分担のみならず、**公共が周辺デザインも含め提示し、これをロールモデルに民間が動く**というプロセスも重要。

## [デザイン調整のあり方]

- 基礎自治体における公民一体的なデザイン調整が、景観計画を所管する都道府県で引き取られ、景観規制の実効力を高めるなど、**デザインに対する行政組織間の調整・連携**といった事例も参考とする必要。
- 複数のエリアで再開発プロジェクトが進行しているような地域においては、事業初期のデザイン調整と同時に、**一体的な利活用の仕組みや利活用する主体**についても育成していく必要がある。

## [交通とまちづくりの連携]

- ストリートを活用するプロセスには、交通戦略などから取り組みを進めるような**交通系**のものと、まちづくりなどから取り組みが進む**都市再生系・地方創生系**といったものに大別できる。
- 建築、交通の**分野横断的に**、路面の使い方やオープンスペースのデザイン、沿道の利益を**統合的に見て、ビジョンや計画、設計ができる職能**が必要。

## [交通影響の評価手法について]

- 交通**シミュレーションの結果を社会実験で実証**することで、交通影響評価の信頼、事業内容への信用、ひいては地元の合意形成につながる。
- 交通シミュレーションは、交通量と車線の分配だけの議論であれば、比較的平易なシミュレーションにより、また、面的に対象が広がれば、様々な波及効果や影響が広がるため、一定の高度なシミュレーションが必要となる。

## [街路空間のデザインについて]

- 必ずしも全区間、同一のデザインでなくとも、**地域の形成史や特性**を生かしたデザインに取り組むことも重要。

## 2. これからのストリートに必要な要素とは

- 1) ストリート＝街路空間をどう定義するか
- 2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて
- 3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤー
- 4) これらの空間を支える交通環境等の確保
- 5) ウォーカブルのストリートの適切な測り方・評価方法

# 3. 主な論点(案)

## 問題意識

各都市において、ストリートの改変に踏み出そうとした際に、例えば、

- ① 意義及び効果 ~ ストリートの改変の必要性や、それが生み出す多面的な影響、
  - ② 構成要素 ~ 沿道や周辺環境を踏まえた望ましいデザインや設え、  
ストリートにおけるアクティビティや、これを担うプレイヤーのあり方、
  - ③ 交通ネットワーク ~ 各街路それぞれの位置付けから、外周街路の活用をはじめ  
交通再配分の考え方、駐車場の配置や出入口のあり方、
- 等について、一定の取りまとまったリソースが乏しく、模索を繰り返しているのが現状。

このようなことから、庁内での機運醸成から、庁内調整、さらには関係機関協議等において、アドホックな対応に苦慮している状況。

## 主な論点

- 1) ストリートを人間中心の空間へリノベーションしていく意義と効果とは？
- 2) ストリートの空間デザインや設えはどうあるべきか？
- 3) どのようなアクティビティを、どう運営していくべきか？
- 4) どうプレイヤーを選び、育て、支え、つなげていくべきか？
- 5) ストリートを支える交通環境をどのように考えるべきか？
- 6) ウォーカブルなまちなかのストリートはどう測り、評価していくべきか？

← 本日の主な  
テーマ

主に地方公共団体向けのガイドラインとして、参考となる考え方や手順等を  
取りまとめていく予定

# ストリートデザイン懇談会の進め方(予定)

	テーマ	プレゼンター	日時
第1回	— 総論 — これからのストリートに 求められるもの	事務局、三浦委員、泉山委員	8月29日(金) 13:00-15:00
第2回	— 使う — 都市生活を豊かにする アクティビティ	泉英明ゲスト委員、西村浩ゲスト委員 ハートビートプラン      ワークビジョンズ 代表取締役                      代表取締役	10月1日(火) 13:00-15:00
第3回	— 作る — 居心地の良い歩きたくなる 公共空間デザイン	西村委員、栗本光太郎ゲスト委員 豊田市役所	10月29日(火) 15:00-17:00
第4回	— 支える — ストリートを支える 環境づくり	藤村委員、羽藤英二ゲスト委員 東京大学大学院 工学系研究科 教授	11月29日(金) 13:00-15:00
第5回	— 測る — 人間中心の ストリートの評価	小嶋委員、事務局	12月18日(水) 10:00-12:00
第6回	ガイドラインに向けて	—	1月28日(火) 13:00-15:00

中間とりまとめ公表 → ガイドライン発出へ

年度内